

平成30年7月豪雨災害 愛媛県における災害廃棄物処理の概要

令和3年3月
環境省中国四国地方環境事務所
愛媛県

○平成30年7月豪雨での災害廃棄物処理の経験から得られた教訓

Incident Command System (※) の 5 つの基本機能を参考に、得られた教訓を整理すると以下のとおり。

指揮調整 Incident Command	<ul style="list-style-type: none"> ・県の災害廃棄物処理担当職員の充実 ・災害廃棄物処理を行う県職員の計画的な配置 ・市町の災害廃棄物処理体制を迅速に確立することの重要性 ・分別に関する広報的重要性
情報作戦 Planning	<ul style="list-style-type: none"> ・初動期の情報収集及び集約した情報の共有的重要性 ・県による市町災害廃棄物処理実行計画の策定支援的重要性

※：米国で開発された災害現場などにおける標準化された管理システムのこと。災害対応に必須な5つの基本機能が示されている。

○対応の時系列経過

県は、市町等の状況に応じ、災害廃棄物処理に係る関連団体の調整や、必要とされる情報提供、計画策定支援などを実施した。

初動対応

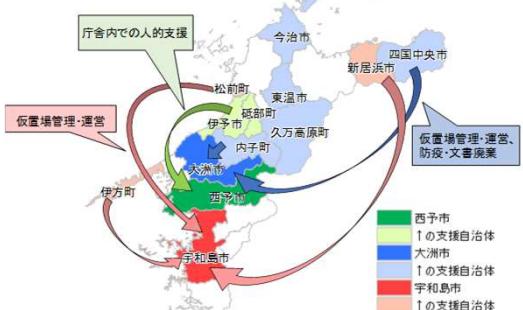
＜市町等の状況＞

- ・各被災市町において、家財等ごみ、生活ごみ、し尿の処理、及び仮置場の選定・設置
 - ・環境省支援チーム及びD.Waste-Netは、当初は宇和島保健所に常駐し支援、約1週間後に宇和島市役所及び大洲市役所に常駐し支援（その他被災市町へは定期的な訪問等）

＜県の対応＞

- ・本庁と保健所で体制を構築し市町の災害廃棄物処理を支援
 - ・県内市町同士での支援体制を構築
 - ・県の担当課長によるマスコミを活用した分別の重要性の広報
 - ・早期の段階で14種類の分別を行うように指導し、後工程の災害廃棄物処理をスムーズに実施

【人的支援の体制】



＜その他＞：県の調整等の下、関連団体も市町等支援を実施

- ・愛媛県浄化槽協会は、無償で浄化槽の緊急点検・応急復旧
 - ・えひめ産業資源循環協会は、大洲市、松野町等へボランティア支援
 - ・建設業協会は、災害廃棄物の運搬、被災家屋の解体

応急対応
(概ね発災後3週間から2か月まで)

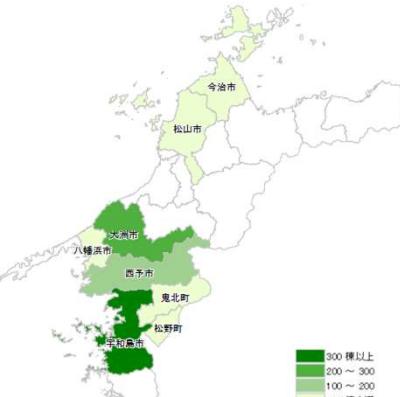
＜市町等の状況＞

- ・損壊家屋の解体撤去開始
 - ・8市町で市町災害廃棄物処理実行計画を策定

＜県の対応＞

- ・全国知事会を通じての秋田県と岩手県の人的支援（平成30年9月～平成31年3月）による体制強化
 - ・応援県の職員と県職員とで、時期に応じて必要な業務を分担、分担業務については概ね全面的に担当
 - ・県が実行計画（案）及びその概要版（案）を作成し支援
 - ・各市町が定めた実行計画の進捗状況について、月1回程度の確認を行い、中国四国地方環境事務所に報告
 - ・損壊家屋の解体撤去にあたっては、県がその手続（モデル）について、市町に参考資料を提供。土木部局との建設リサイクル法の取扱について、協議等の必要性を注意事項として啓発

【公費解体棟数（令和2年2月まで）】



処理着手 (概ね発災後2か月以降完了まで)

＜市町等の状況＞

- ・災害廃棄物の処理にあたっては、再生利用・減量化を行い、最終的な再生利用率は80.4%
 - ・再生利用が困難な可燃系廃棄物は、焼却処理、可能な限りサーマルリサイクルを実施
 - ・再生利用が困難な不燃系廃棄物や廃棄物混入土砂は、市町等の一般廃棄物最終処分場や県内の産業廃棄物最終処分場で埋立処分

＜県の対応＞

- ・市町の災害査定の支援の実施（下記）

8月	・災害等廃棄物処理事業費補助金制度等に係る説明会
10月	・災害報告書作成説明会
11月	・災害報告書作成状況等に関する打ち合わせ（鬼北町、松野町、今治市訪問） ・災害報告書作成状況確認
12月	・災害報告書チェックリスト提供

この期間由資料追加・差し替え等指示 日程調整

The diagram illustrates the layout of the Disaster Prevention Site Inspection Form (災害査定会場レイアウト例) for on-site inspections.

Top Section:

- Header: 災害査定会場レイアウト例
- Form Fields: 定査室、立会室等用荷物置き (Storage for inspection equipment)
- Seal Area: ○ (Seal area)
- Text: 指定は事業内容名を記入している職員が行う。(登録ではなくとも構いません。)
- Signatures: 立会人(署名者) (Signatory), 受託官(署名者) (Deputy official), 立会客(務務者) (Guest)

Middle Section:

- Text: 災害報告書式一式を机に向いて置いておく、1人1部。参考用の複数枚は、人数分の量と資料を準備する。
- Diagram: Shows the layout of the inspection desk with five circular icons representing staff members. A box labeled "進行(実施員)" (Implementation Officer) is shown on the right.
- Text: 市町職員 (Town/City Staff), 街町職員(説明者) (Town/City Staff (Explain)), 市町職員 (Town/City Staff), 市町職員 (Town/City Staff), 市町職員 (Town/City Staff), 市町職員 (Town/City Staff), 而町職員 (Village Staff), 而町職員 (Village Staff).

Bottom Section:

- Text: 締合書類の修正やその他の修正ができるように、パソコンを接続しておく。(パソコンには災害報告書のデータを入れておく特に備え部分)
- Text: 災害報告書に含まれない経済資料等は、すぐに取り出せるよう整理して室内に入れておく。
- Diagram: Shows a computer monitor icon with the text "パソコン" (Computer) and a keyboard icon with the text "指紋認証機、パソコン等連携" (Fingerprint recognition machine, computer integration).
- Text: パソコン (Computer), 指紋認証機、パソコン等連携 (Fingerprint recognition machine, computer integration).
- Text: コンセントに直通電源を接続している場合、コンセントは裏蓋がない場合は必ず保護帽をつけること。災害報告書に含まれない経済資料で変更の場合は出力されたものは災害報告書の一部みなされ、その場で提出する必要がある。(コピー機器保護が必須。)